

# 1章. 遊びじゃないのよ(はじめに)

以前は趣味やプロの道具でしかなかったパソコンですが、今では自動車のように誰もが使う道具になりました。インターネットを見たり、メールを書いたり、あるいはDVDを再生してみたり…家庭で使っている限り、買って来たパソコンをそのまま使っていても大きな問題が出てくることはありません。

しかし、仕事で使うパソコンでは話が違ってきます。安全に安定して動作し、データを失うことがあってはいけません。高性能なパソコンや業務用のパソコンがあれば良いというわけではありません。使い方を工夫することでこれらの条件を満たすようにします。工夫と言うよりは管理や運用といったほうが良いかもしれません。

## §1-1. よく判らない方のために

パソコンの基本的な操作、ワードやエクセルなどのソフトの使い方はパソコン教室や解説書などで学ぶことはできます。しかし、パソコンの運用や管理方法を教えてくれるものは、残念ながらありません。

企業では専門知識を持ったIT担当者が運用や管理を行っています。こうした専門家は「システム管理者」と呼ばれます。

専門家ですから自分でシステムを組めますし、問題が起きても対応ができるわけです。

しかし、ここまでパソコンが普及してしまうと、話は違ってきます。

専門家を置くことができない零細企業や自営業者は、絶望的状况に追い込まれてしまっているのが現状です。

このマニュアルは「エクセルやメールは使えるが、パソコンは良く判らない」という小事業者の方が、自分でパソコンの運用や管理をできるようにすることを目的にしています。

専門家のように多くの知識は必要ありませんし、パソコンが得意である必要もありません。管理や運用をするには、このマニュアルで書いている程度の知識で充分なはずです。

「こうすれば儲かる」「ホームページのアクセス数を増やすには…」といった内容は氾濫していますが、これは「攻めのIT」と考えることができます。このマニュアルで取り上げるのは運用や管理といった「守りのIT」です。

ですから、このマニュアルの内容を実行しても直接利益が上がることはありません。しかし、内容を理解して自分で管理や運用をキチンと行うことで、安心してパソコンを使えるようになるはずで、今まで見えなかった問題点や今後の展望などが見えてくることもあると思います。

野球などのスポーツでも派手な攻撃に目が行きがちですが、守りを固めておかないと手痛いダメージを受けるはずで、パソコンも同じです。

従業員にパソコンの管理を任せるのも結構ですが、最終的な責任者は事業主や社長さんです。細かい設定までやる必要はありませんが、全体的なシステムの概要は把握しておく必要はあるはずで、このマニュアルを一通り読んでおくことをお勧めします。

また管理を任せただけで、その従業員の指示に従ってパソコンを使うようにしてください。

事業主や社長さんが勝手なことをしていたのでは、統制がとれなくなるはずで、

## § 1-2. 仕事で使うパソコンはココが違う

仕事で使うパソコンに要求されるのは以下の4点です。

1. 安全に動くこと(セキュリティ対策など)
2. 安定して動くこと
3. 必要なデータを素早く取り出せること
4. データを確実に保護していること(バックアップなど)

パソコンが得意な零細企業や自営業の方は、自分で工夫してこの4つを実行しているはず  
です。この4点に自信がある方はこのマニュアルを読む必要はありません。  
しかし、それ以外の方は「方法が判らない」「手間が掛かりすぎる(面倒だ!)」という理由で、  
結果的にかなり危険な状態でパソコンを使っているのではないのでしょうか。

このマニュアルでは1番の「安全に動くこと」、3番の「必要なデータを素早く取り出せること」、  
4番の「データを確実に保護していること」を中心に上げます。  
この3点が日々の管理や運用ということです。パソコンが1台しかなくても、仕事で使うパソコンには必要なことです。

2番の「安定して動くこと」にはあまり触れていません。個々の環境で状況が変わるため、こ  
のようなマニュアルにはまとめることが難しいためです。  
けれども1番、3番、4番をちゃんと実行していれば、トラブルも減って安定してくるのではな  
いのでしょうか。

## § 1-3. パソコンは苦手なんだよね～

前項のとおり、このマニュアルで取り上げているのは各種の設定と日々の管理運用が中心  
です。トラブル時の対応は取り上げていません。これはトラブル対応は誰でもできるわけ  
ではないためです。

自動車はトラブルが発生しても修理工場やガソリンスタンドといった場所で対策を取ること  
ができますが、パソコンでは、こうしたものが確立していません。メーカーのサポートに電話  
をしても話中で繋がらなかったり、まともな対策を提示してくれないといった状態は当たり  
前です。個々のマシンも千差万別なため、まともな対策を期待するのは難しいです。複数  
のパソコン間の話になると絶望的です。

パソコンが得意な人は大勢います。あなたの周囲にも間違いなく居るはずです。パソコンが  
苦手という方は親身になって診てくれる信頼できる方を見つけて、サポートをお願いしま  
しょう。お師匠さんといったところでしょうか。拡張カードやメモリの増設なども、お願いすれ  
ばやってくれることと思います。

お師匠さんも自分の仕事の合間に面倒を見てくれているケースが多いでしょうから、あまり  
迷惑は掛けられないと思います。  
簡単なトラブルは自分で解決できるようにしたいものですが、そのためには色々な設定は  
出来るだけ自分で行うようにしてください。そのときの経験はトラブルが発生したときに確実

に生きてきます。

### 【コラム】お師匠さんの信用

お師匠さんは信頼できる方に…と書きましたが、これには理由があります。パソコンの中身を見せるということは、業務上の秘密まで知りうることになるからです。ですから、パソコンのお師匠さんは、会計士の先生に次くらいに重要と考えなくてははいけません。パソコンの自作ができる程度の技術力のある方なら、お師匠さんとしてお願いして大丈夫なはずです。技術力より信用が第一です。人選は慎重にしましょう。

ところで、一般的にパソコンが得意なヒトというのは、趣味でパソコンをやっていることが多いものです。このマニュアルを読み進めてゆくうちに判ると思いますが、管理や運用についてはあなたのほうが豊富な知識や経験を持っているというケースが少なからず出てくると思います。

お師匠さんに作業をお願いするときは内容を説明して、よく理解してもらってから作業に掛かって貰ってください。ここを押さえておかないと、振り回されただけで結果が出ないという状態になる可能性が高いです。

## § 1-4. 読み進むにあたって

基礎編ではパソコンを管理や運用するために必要な知識や設定、仕事でパソコンを使うときの知識などを読み物風にまとめてみました。専門用語はなるべく避けたつもりです。

データの整理や管理、日常業務に負担を掛けないバックアップ方法も紹介していますが、パソコンを2台以上使っている方は多少方法が違ってきます。2台以上のパソコンを使っている方は、ネットワーク編も併せて読んでください。他の従業員に見られては困るデータがある方も同様です。

パソコンが1台しかない環境で無線 LAN を使うこともあると思いますが、無線 LAN はネットワークの知識がないと難しいため、ネットワーク編で取り上げています。

このマニュアルを印刷してファイリングしておきたい…という方も多いと思います。マニュアル中にはカラーの図もありますが、モノクロ印刷でも問題ないように考慮しています。モノクロのレーザープリンタなどで印刷して頂いても大丈夫なはずです。

サポート掲示板も用意していますので、よく判らない部分などがありましたら質問してみてください。

このマニュアルの内容を実行するときは、自己責任で実施してください。問題が起きた場合、掲示板でのサポートは行いますが、責任は負いかねます。ご了承ください。